

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。






- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る









吊り上げ時のご注意

警告	
<p>吊り上げ・運搬作業は、有資格者が行ってください。落下・事故の原因になります。</p> <p>吊り上げ・運搬作業は、製品質量に適したクレーン・機具を使用してください。落下・事故の原因になります。</p> <p>本体の吊り上げは、必ず基台部の吊り穴を使用してください。屋根のアイボルトを使用すると破損して、落下・事故の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="text-align: center;"> 屋根 アイボルト </div> <div style="text-align: center;"> 基台部 吊り穴 </div> </div>	<p>本製品は重量物です。吊り上げる際は、吊り上げ重量（吊り角度による影響も含む）に耐えられる同じ長さのベルトスリング4本と、シャックルまたはフックを使用してください。落下・事故の原因になります。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ベルトスリング2本による半掛け禁止 目通し吊り禁止 </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">同じ長さのベルトスリング4本を使用し、ゆっくり吊り上げる。</p> <div style="text-align: center;"> シャックルまたはフックを使用する。(4か所) </div>
<p>吊り上げる際は、安全な吊り角度60°以上を厳守してゆっくり行ってください。落下・事故の原因になります。</p> <div style="text-align: center;"> 60° 以上 側面 </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">側面から見て吊り角度が60°以上になるようなベルトスリングを使用する。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">吊り角度 60° 以上を厳守</p> </div>


注意	
<p> 移動の際は、側板・ドアの下部にバールなどを当てないでください。変形・破損・キズの原因になります。</p> <p> ベルトスリングが横滑りしないようにしてください。変形・破損・キズの原因になります。</p>	<p> ベルトスリングが当たる屋根の角およびシャックルのフック部には、保護材などを使用してください。変形・破損・キズの原因になります。</p>





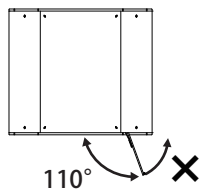
■施工上のご注意

⚠ 警告	
 アースせよ	接地端子を利用して、アース接続を確実に行ってください。感電の原因になります。
	屋根に乗って作業しないでください。転倒・落下により、けがの原因になります。
	電気工事(取付・施工)は、有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	保守点検は、専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	工事・点検の際は、すべての開閉器およびブレーカを必ず切ってください。感電・短絡の原因になります。 設置を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。 設置の際に脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下により、けがの原因になります。

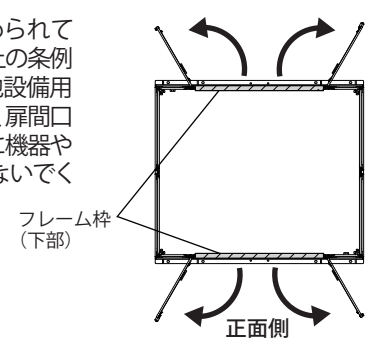
⚠ 注意											
	次のような場所では使用しないでください。内部機器の故障による機能障害・火災の原因になります。 ・結露および氷結のある場所 ・潮風を著しく受ける場所 ・氷雪が特に多い場所 ・腐食性ガスや可燃性ガスのある場所 ・極度に粉塵、導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)、オイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界、磁界)の強い場所 ・振動・衝撃のある場所										
	必ず水平な床面に設置してください。床面が水平でないとドアがひずみ、IP性能を保持することができなくなり、機器の故障・けがの原因になります。										
	屋根の着脱および収納機器の搬入は、キャビネットを水平な取付面への設置後に行ってください。ドアの開閉に支障をきたしてIP性能を保持することができなくなり、機器の故障の原因になります。										
	使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 5</td> <td>1.8 ~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>M 6</td> <td>2.9 ~ 4.4</td> </tr> <tr> <td>M 8</td> <td>7.8 ~ 13.7</td> </tr> <tr> <td>M12</td> <td>35.0 ~ 50.0</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M 5	1.8 ~ 2.9	M 6	2.9 ~ 4.4	M 8	7.8 ~ 13.7	M12	35.0 ~ 50.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m										
M 5	1.8 ~ 2.9										
M 6	2.9 ~ 4.4										
M 8	7.8 ~ 13.7										
M12	35.0 ~ 50.0										
	キャビネット設置後は、定期的になじの増し締めを行ってください。ねじのゆるみによりドア・側板などが落下してけがの原因になります。										
	入出線口・配管孔は防塵・防水処理を行ってください。粉塵・虫・小動物の侵入や漏水により、機器の故障の原因になります。										
	通線穴加工の際は、機器に切粉やごみが掛からないように養生などの処置をしてください。機器の故障の原因になります。										
	キャビネット内側からはドアを開けることができません。キャビネット内での作業は、ドアが開まらないようにドアストッパーを使用してください。閉じ込められるおそれがあります。										

■使用上のご注意

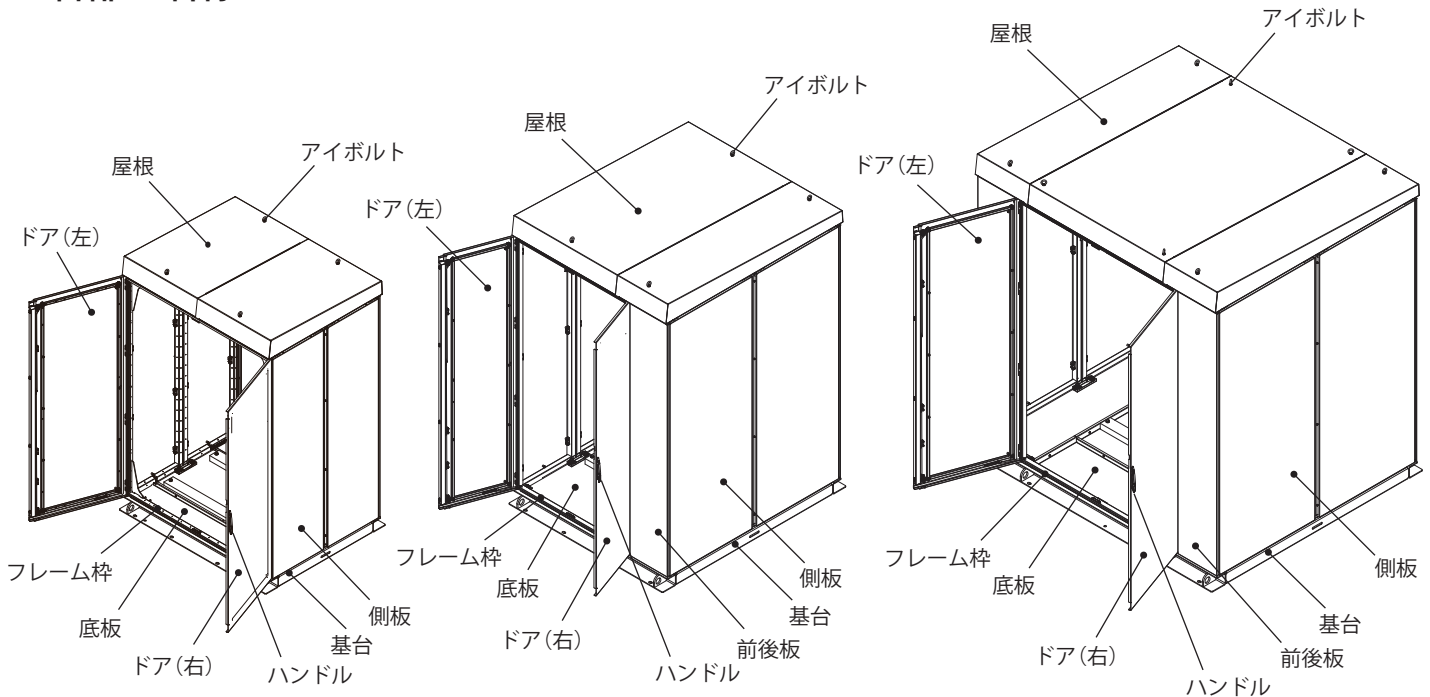
⚠ 警告	
	通電中はキャビネット内部には入らないでください。感電のおそれがあります。
	雨天時にドアの開閉は行わないでください。キャビネット内に雨水が浸入し、感電・機器の故障の原因になります。
	強風時にドアの開閉は行わないでください。ドアストッパーの破損によりドアが閉まり、けがの原因になります。
	ドアは必ず施錠して、鍵は関係者以外持ち出せないよう管理してください。事故の原因になります。

⚠ 注意	
 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとキャビネット本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。
	ドアを勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。
	取り外したドアを壁などに立てかけないでください。転倒・破損・けがの原因になります。
	ドアの開閉角度は約110°です。ドアを開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。蝶番部およびドアの変形・破損の原因になります。 

⚠ 注意

⊘	蝶番とギヤヒンジの軸が合わない状態で、無理にねじ部を回転させないでください。破損の原因になります。	⊘	火災予防条例に定められている 4800Ah セル以上の条例キュービクル式蓄電池設備用としてご使用の場合は、扉間口のフレーム枠(下部)に機器や端子部材を取り付けしないでください。	
	ギヤヒンジのねじ部を逆方向または必要以上に回転させないでください。十字穴部またはギヤ部の破損の原因になります。			
	ギヤヒンジのねじ部は電動ドライバーで操作しないでください。十字穴部またはギヤ部の破損の原因になります。			
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。			
!	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります	ドアの着脱を行う際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。	ドアを閉める際は、ドアを完全に閉めた状態でゆっくりハンドル操作を行ってください。ドアが確実に閉まらず IP 性能を保持することができなくなり、機器の故障の原因になります。	ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

■各部の名称



W=1600mm タイプ

W=1800mmタイプ

W=2400mm・2600mmタイプ

●付属品

部品名		材質	板厚 mm
フレーム枠		鉄(塗装)	1.6
屋根	本体	〃	2.3
	補強ヨコ	〃	〃
ドア		〃	〃
側板・前後板		〃	〃
底板		〃	〃
基台	基台フカサ・補強	鉄(溶融亜鉛めっき)	4.5
	基台ヨコ	〃	6.0
	吊り金具	〃	12.0

名称	数量	備考
キー	1 コ	ドア施錠用
アースラベル	20 枚	接地端子の表示
取扱説明書(本紙)	1 部	—

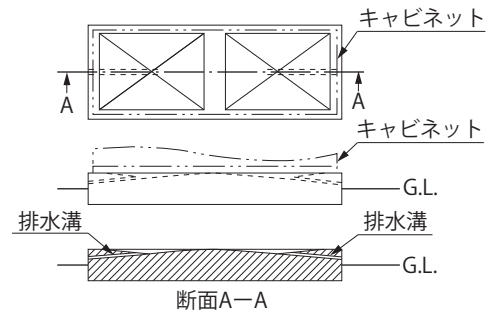
ご注意

- ・個別受注対応品のため、構成部品、付属品の数量、種類を変更する場合があります。
- ・本製品は収納機器の動作・性能を保証するものではありません。

■設置方法

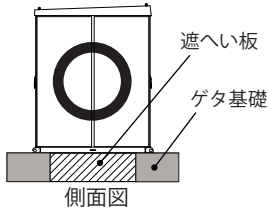
●基礎構造

- ・キャビネットの底面全体が基礎に載る基礎構造(ベタ基礎)を推奨します。
- ・納入仕様書(図面)にて入出線口の位置を確認して、配線ビット・配線管を施工してください。
- ・内部に雨水などが溜まるのを防ぐため、コンクリート基礎に排水溝を設けてください。排水溝の流出口には金網を張るなどして小動物の侵入を防止してください。

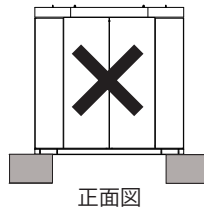


排水溝施工の一例

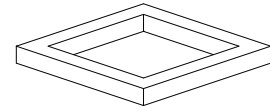
- ・ゲタ基礎構造とする場合は、キャビネット前後底面が載る構造とし、基礎両端は遮へいするなどの風雨吹き込み防止対策を行ってください。
- ・キャビネット左右底面のみが基礎に載る構造にしないでください。
- ・升型基礎で屋上に設置する場合は、必ず排水溝を設けてください。漏水の原因になります。



ゲタ基礎 (前後底面が載る場合)



ゲタ基礎 (左右底面が載る場合)



升型基礎

⚠注意



基礎と基台の間にコーキング処理はしないでください。キャビネット内部に雨水などが溜まり、結露・錆の原因になります。



必ず水平な床面に設置してください。床面が水平でないとドアがひずみ、IP性能を保持することができなくなり、機器の故障・けがの原因になります。

●アンカーボルト

納入仕様書に指定されているアンカーボルト・アンカーボルト用穴位置にて固定してください。

●設置面の調整方法

設置面が水平でなくドアの開閉に支障が生じた場合は、スペーサなどにより水平になるように調整してください。

調整方法

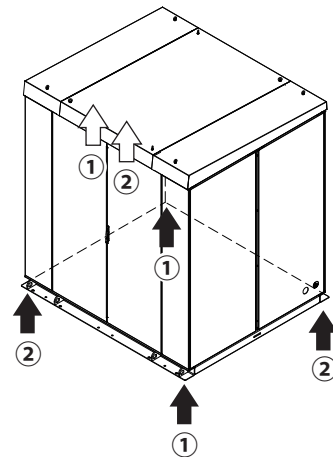
ドアが①の方向にひずんだ時は、

↑①の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

ドアが②の方向にひずんだ時は、

↑②の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

設置面が水平になるように調整してください。



【オプションパーツのご案内】

スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用ください。

名称	品名記号	摘要
基台用スペーサ	BP17-10SU	U字(アンカーボルト用、t1.0)
	BP17-1030S	50mm角(t3.0)

■屋根の着脱方法

大型機器をキャビネット上部から吊り上げ搬入、搬出する際に、屋根を取り外してください。

⚠警告



吊り上げ・運搬作業は、有資格者が行ってください。落下・事故の原因になります。



設置の際に脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下により、けがの原因になります。

⚠注意

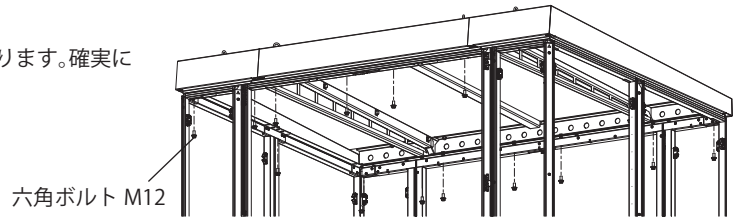


屋根の着脱および収納機器の搬入は、キャビネットを水平な取付面への設置後に行ってください。ドアの開閉に支障をきたしてIP性能を保持することができなくなり、機器の故障の原因になります。

1. キャビネット内側から、屋根を固定している六角ボルト M12 をすべて取り外してください。

ご注意

六角ボルト M12 の数量は、キャビネット寸法・仕様により異なります。確実にすべて取り外したことを確認してください。

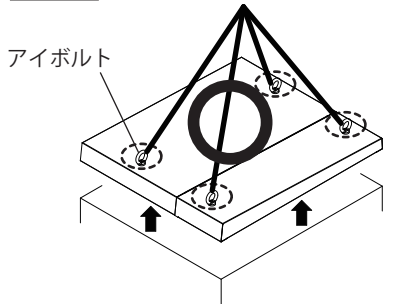


六角ボルト M12

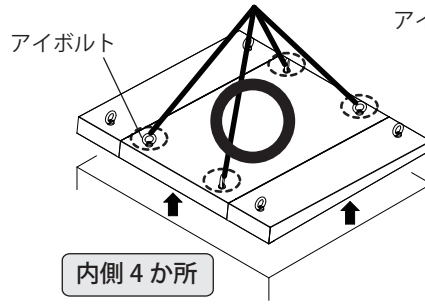
2. アイボルト (4 か所) を使用して、クレーンなどで屋根を吊り上げて取り外してください。

取付方法は、取外し方法と逆の手順で取り付けてください。

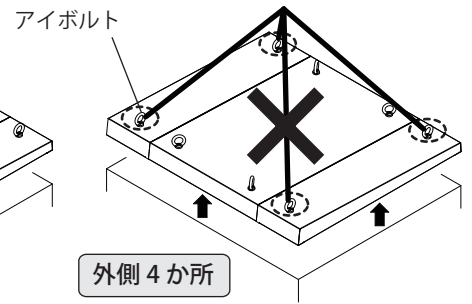
ご注意 W=2400mm・2600mm タイプは必ず内側 4 か所を使用して吊り上げてください。



W=1600mm・1800mm タイプ



内側 4 か所



外側 4 か所

W=2400mm・2600mm タイプ

注意



使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M12	35.0 ~ 50.0

■ドアの取扱方法

注意



指に注意

ドアの着脱を行う際は、ドアとキャビネット本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。

ドアを勢よく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。



取り外したドアを壁などに立てかけないでください。転倒・破損・けがの原因になります。

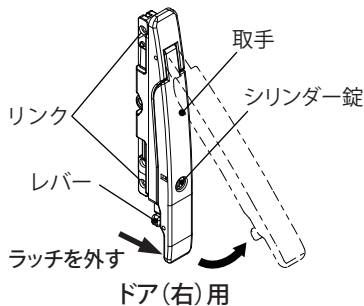


ドアの着脱を行う際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。

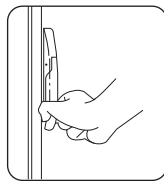
ドアを閉める際は、ドアを完全に閉めた状態でゆっくりハンドル操作を行ってください。ドアが確実に閉まらず IP 性能を保持することができなくなり、機器の故障の原因になります。

●ハンドルの開閉について

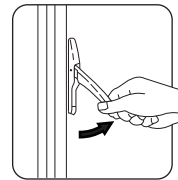
《ハンドル詳細》



【開け方】



1. 指先でハンドル下側内部のレバーを引きラッチを外します。

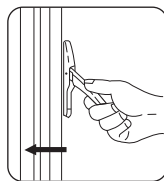
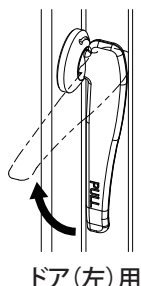


2. そのまま引き、取手を持ってドアを開けます。

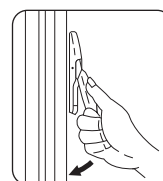
ご注意

機構上、取手が途中で止まる場合がありますが故障ではありません。ロッド棒のロックが解除されるまでしっかり引いてください。

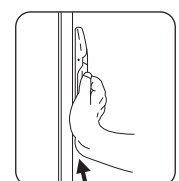
【閉め方】



1. 取手を持ちます。この時取手は上へ完全に上がった状態です。



2. ドアを押えながら取手を閉め、ロッド棒がロッド棒受金具に掛かるのを確かめます。



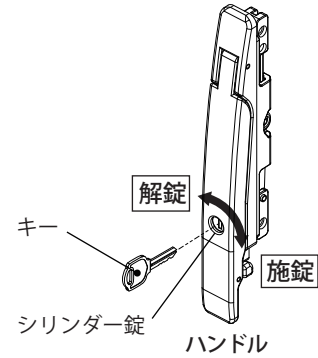
3. 引っ掛け状態になったら手のひら全体で取手を押しドアを閉めます。

●ハンドルの施錠・解錠方法

1. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

※キー・シリンダーの摩擦により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。

【ご注意】 施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。



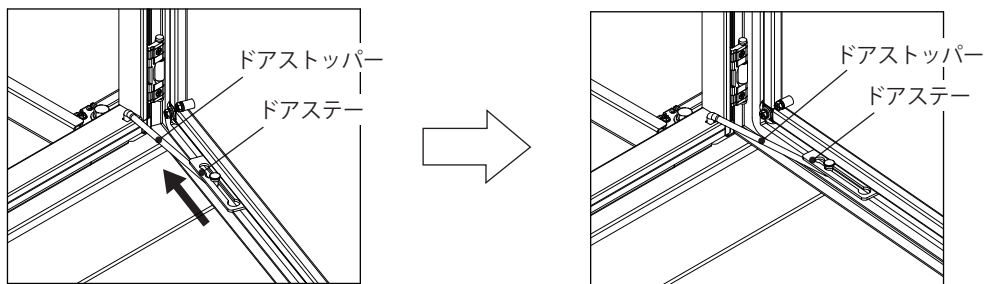
⚠ 注意		
⊘	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	!
	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	
		ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

●ドアストッパーの使用方法

⚠ 警告	
⊘	強風時にドアの開閉作業は行わないでください。ドアストッパーの破損によりドアが閉まり、けがの原因になります。

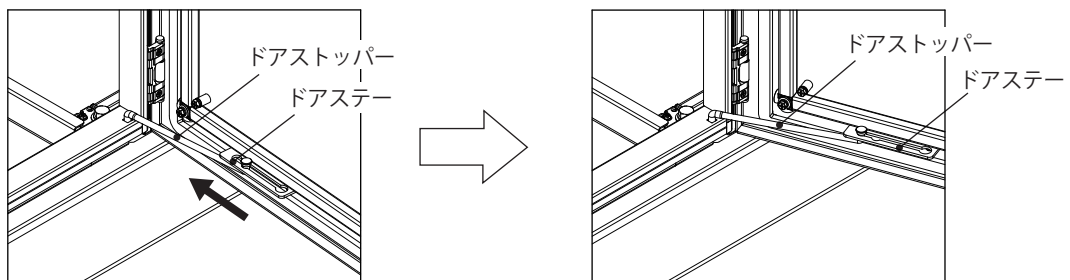
⚠ 注意	
⊘	<p>ドアの開閉角度は約 110°です。ドアを開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。蝶番部およびドアの変形・破損の原因になります。</p> <div style="text-align: right;"> </div>

1. ドアを開くと自動的にドアストッパーがドアステーをスライドし、85° で固定されます。



ドアを 85° 開いた場合

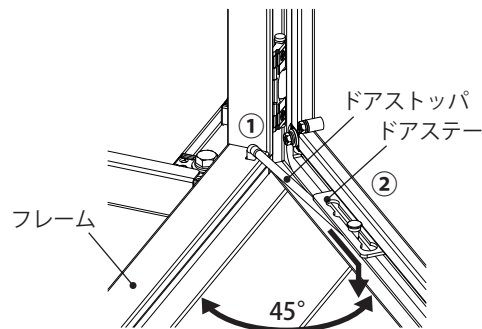
2. 110° まで開く際は、ドアストッパーを上を持ち上げてドアを開くと、110° で固定されます。ドアを閉める際は、ドアストッパーを上を持ち上げてストッパーを解除してください。



ドアを 110° 開いた場合

●ドアの取外し方法

1. ドアの開角度を約 45° に保持したまま、ドアストッパーを①フレーム側、②ドアステー側の順番で取り外してください。

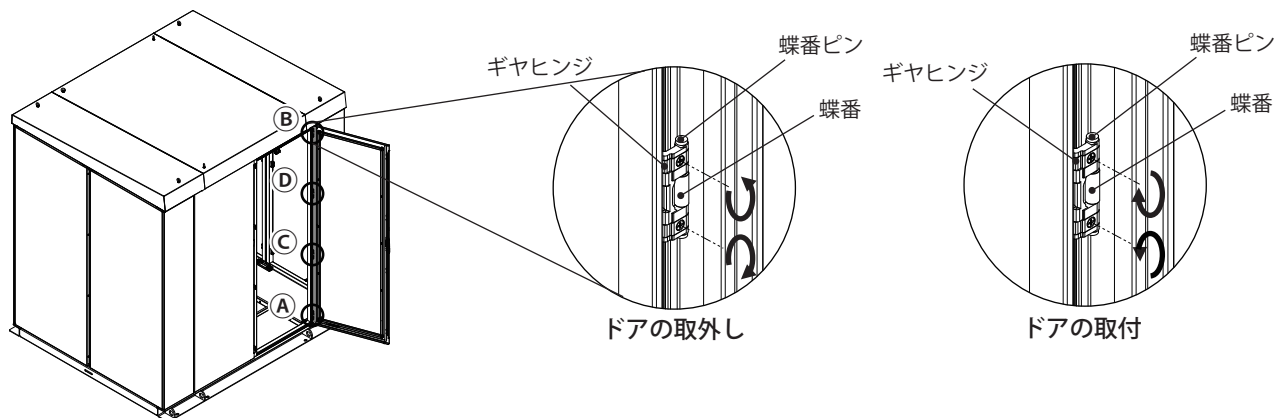


2. ドアの開角度を約 90° 以上開いた状態で、ギヤヒンジのねじ部を図の方向にドライバーで回し、蝶番ピンのはめ合いを外します。

④下部、③上部、②中央下部、①中央上部の順番で行ってください。

取付方法は、取外し方法と逆の手順で取り付けてください。

ご注意 ねじ部を取外し方向に回転させても蝶番ピンは抜けません。



⚠ 注意

蝶番とギヤヒンジの軸が合わない状態で、無理にねじ部を回転させないでください。破損の原因になります。

ギヤヒンジのねじ部を逆方向または必要以上に回転させないでください。十字穴部またはギヤ部の破損の原因になります。

ギヤヒンジのねじ部は電動ドライバーで操作しないでください。十字穴部またはギヤ部の破損の原因になります。

■キャビネット内からの脱出方法

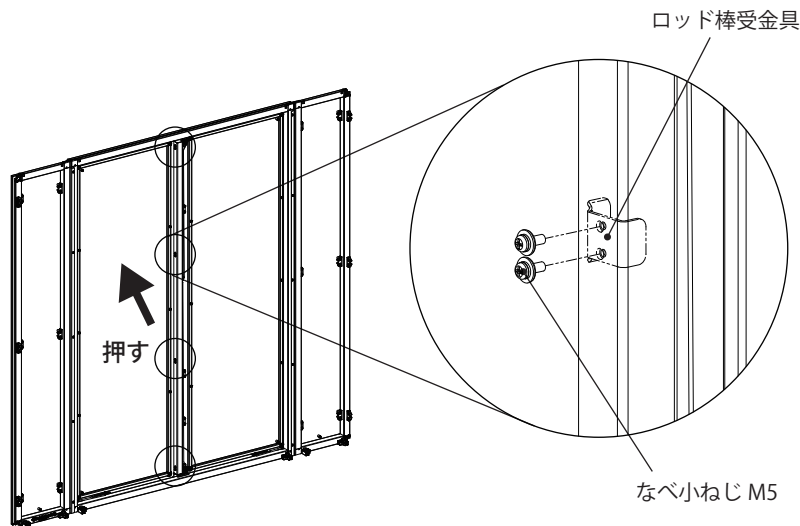
キャビネットの中に閉じ込められた場合は、以下の方法で外部に脱出してください。

1. 両開きドアの合わせ部の向かって左側にある、なべ小ねじ M5 (8 か所) を全て取り外してください。
2. 両開きドアの向かって左側のドアを押して脱出してください。

ご注意

脱出後は、外れたロッド棒受金具 (4 コ) をなべ小ねじ M5 (8 か所) で取り付けてください。

その後、ドアのハンドル操作の確認をしてください。



キャビネット内側から見た図

⚠ 注意

キャビネット内側からはドアを開けることができません。キャビネット内での作業は、ドアが開まらないようにドアストッパーを使用してください。キャビネット内に閉じ込められるおそれがあります。

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M5	1.8 ~ 2.9

■保守点検

安全にご使用いただくため、定期点検・部品交換を行ってください。

⚠ 警告



工事・点検の際は、すべての開閉器およびブレーカを必ず切ってください。
感電・短絡の原因になります。

部位	保守点検内容
塗装	錆が発生している場合は、錆を除去し腐食の進行を防いでください。
ハンドル	ハンドルの操作性が悪くなった場合は、ハンドル軸部にグリスを塗ってください。 キーの操作性が悪くなった場合は、キー・シリンダーに鍵用潤滑剤を塗布するかハンドル本体を交換してください。
パッキン	パッキンに亀裂などが発生した場合は、パッキンを交換してください。
樹脂部品	部品に亀裂などが発生した場合は、部品を交換してください。

お問い合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2020年4月
B913600922